



六ヶ所村 SEMINAR

主催

原子力規制人材育成事業（長崎大学原爆後障害医療研究所）
「大学等放射線施設による緊急モニタリングプラットフォーム構
築のための教育研究プログラム」

事務局

長崎大学原爆後障害医療研究所 放射線生物・防護学分野
〒852-8523 長崎市坂本1-12-4
TEL 095-819-7150 E-mail r-haya@nagasaki-u.ac.jp

2019.9.23 - 24

ねらい

ウラン原子燃料中の核分裂性のウラン235は3-5%で、残りの大部分を占めるウラン238は非核分裂性ですが、原子炉内で生成する中性子を吸収し核反応および β 壊変を経て核分裂性のプルトニウム239を生じます。このプルトニウム239を使用済み原子燃料から取り出して（再処理）、ウラン235と混ぜ（MOX燃料）使用するのが原子燃料サイクルの基本的考え方です。使用済み燃料の保管、再処理、処理により生じる高レベル放射能廃棄物のガラス固化と一時保管、これらの一連のプロセス開発が本州の北の端、下北半島で静かに進められています。それに伴い、放射線の環境影響についての基礎研究も必要となります。このセミナーでは、将来の日本のエネルギー問題の根幹にも係る技術開発と研究の状況を、この北の地で実地に学びます。

参加者

学生		講師等・事務局	
神田 美香	お茶の水女子大学	中島 覚	広島大学
森井 志織	東京大学大学院	廣田 誠子	広島大学
中村 月覇	大阪府立大学大学院	達家 雅明	県立広島大学
平戸 結佳子	大阪府立大学大学院	岡崎 龍史	産業医科大学
土井 捺実	県立広島大学大学院	北 実	鳥取大学
戸賀里 飛郎	県立広島大学大学院	松田 尚樹	長崎大学
三奈木 健司	県立広島大学大学院	林田 りか	長崎大学
中村 麻利子	鳥取大学大学院		
季 佳瑠	愛媛大学		
村上 悠介	愛媛大学		
大石 紘大	長崎大学大学院		
渡辺 武美	長崎大学大学院		
氏家 里紗	長崎大学大学院		
高比来 ひとみ	長崎大学大学院		

研修会場

日本原燃（株）六ヶ所事業所
 公益財団法人 環境科学技術研究所
 青森観光物産館アスパム5階会議室「白鳥」

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮上尾駮2-42
 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字家ノ前1-7
 青森市安方1-1-40

スケジュール

2019/9/23（月）

18:30 プレ研究会（壱乃助）

2019/9/24（火）

08:00 JR青森駅前集合、六ヶ所村移動

10:00 日本原燃六ヶ所村事業所見学・意見交換

PRセンター、再処理工場、使用済燃料施設、高レベル管理施設

13:00 昼食（ろっかぼっか）

14:00 環境科学技術研究所見学

講義「私の発がん研究」島田義也 理事長

17:00 青森移動

19:00 情報交換会（ねぶたの國 たか久）

2019/9/25（水）

09:00 研究発表会（青森観光物産館アスパム5階会議室「白鳥」）

細胞分裂軸制御研究：ゲノム損傷ストレス後の再増殖過程における異常招来機構（土井捺実）

ゲノム損傷ストレスによる分裂軸異常を抑制する低分子量化合物の開発（達家雅明）

09:40 マウス神経幹/前駆細胞における遅延性染色体転座生成とX線被ばく時年齢との関係の解明（中村月覇）

The inhibitory effect on the DNA double strand repair kinetics by a DNA ligase IV inhibitor（平戸結佳子）

10:00 福島県の一般市民が着用したマスクから採取された不溶性セシウム粒子（森井志織）

10:20 被爆二世の健康に関する考えの実態（大石紘大）

10:30 電子スピン共鳴による被曝線量評価（廣田誠子）

10:55 福島第一原子力発電所事故からの復興と高レベル放射性廃液処理に向けた基礎的研究（中島覚）

11:20 セミナーのまとめ（松田尚樹）

11:30 終了、解散